

こうして生まれる!!

『くまもとの畳表』

「いぐさ」ができるまで

「畳表」ができるまで



1 苗掘り
8月に畑(苗床)に植え付けられた苗を掘り出し水田苗床へ植付け育苗します。それを11月下旬に掘り出し、本田植え付け株用に根切り、株分けの調整をします。



4 網張り
いぐさは、150cm以上に伸長するので倒れないよう水田全体に網を張ります。



2 植え付け
調整された苗は、12月上旬からいぐさ移植機等で植え付けます。



5 収穫
6月下旬から7月中旬にかけ、良く生育し充実したいぐさを刈り取ります。刈り取り時期は、気温が高くない、早朝や夕方です。



3 先刈り
5月上旬ごろ、根元まで日光が当たるよういぐさの先端を刈り払って、新芽の発芽を促します。(収穫45日前頃に出る芽が長くて高品質のいぐさになります)



6 泥染め
刈り取られたいぐさは、その日のうちにいぐさ独特の色、香り、光沢を出すため、天然染土を使って泥染めを行います。その後、乾燥機で乾燥させます。

寒い冬に植え付けて、暑い夏に刈り取ります。



7 製織
乾燥されたいぐさは、長さごとに選別し、備太さのチェックをして一枚一枚畳表に織り上げていきます。この時、QRコードタグを挿入します。



9 検査
高品質の畳表をお届けするため、熊本県畳表検査規格(自主規格)に基づいた厳しい検査を受けています。検査に合格した畳表には検印が押され、高品質の畳表であることが保証されています。



8 仕上げ
製織された畳表は、一枚一枚織り傷がないかなどをチェックする仕上げを行います。



10 出荷
国産表示シールや製品表示票をつけて、全国に出荷されています。

毎日一枚一枚心を込めて織り上げます。

◆「染土」て何?

染土は、淡路島産や広島県産の良質の天然粘土が使用されています。
染土で泥染めすることで、表面をコーティングし、均一に乾燥するよう手助けします。また、基表面の葉緑素の酸化を防ぐので、青く新鮮な状態を長く保つことができます。
畳表独特の香りも、染土を使うことで、生じます。

